

## 平成29年度 保健

教科(科目)	体育(保健)	学科(コース)・学年	全学科・1学年
使用教科書	現代保健体育(大修館書店)		
副教材等	現代保健ノート(大修館書店)		
履修単位(時間)	1単位(35時間)	履修条件	必修

## 1. 学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて、自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を養う。

## 2. 指導の重点

- わが国の疾病構造や社会の変化に対応し、健康を保持増進するための、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、自らが適切な生活行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにする。
- 生活習慣病の予防の必要性や、喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に及ぼす影響、エイズや感染症が身近な問題として捉えさせる。

## 3. 学習の計画

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動(評価方法)
1学期	1 単元 現代社会と健康 1 私たちの健康すがた 2 健康のとらえ方 3 さまざまな保健活動や対策 4 生活習慣病と日常の生活行動 5 喫煙と健康 6 飲酒と健康 7 薬物乱用と健康 8 医薬品と健康	1 現在のわが国の健康水準を理解する。 2 現代社会における健康の成立条件を理解する。 3 行政や民間、国際機関の保健活動を理解する。 4 生活習慣病を学び予防方法を考える。 5,6,7 喫煙、飲酒、薬物乱用が健康に及ぼす影響と、その対策方法を学ぶ。 8 医薬品の役割、正しい使用方法を学ぶ。	○教科書、副教材ノート、DVD 及び新聞、インターネットの資料を活用し学習を行う。 ・学習状況の様子 ・副教材の記入 ・定期テスト ・課題レポート
2学期	9 感染症とその予防 10 エイズとその予防 11 健康にかかわる意思決定・行動の選択 12 意思決定・行動選択に必要なもの 13 欲求と適応機制 14 心身の相関とストレス 15 ストレスの対処 16 自己実現	9 現在問題となっている感染症を学び、その予防方法を理解する。 10 エイズの実態について学び、その対策、予防方法を理解する。 11,12 意思決定・行動選択の重要性を健康問題と関連させて理解する。 13 欲求や欲求不満からくる適応機制について学ぶ。 14,15 心と体が相互に影響しあう関係であることを理解し、ストレスの対処方法を学ぶ。 16 自己実現は何かを理解し、自己実現を達成する方法を学ぶ。	○教科書、副教材ノート、DVD 及び新聞、インターネットの資料を活用し学習を行う。 ・学習状況の様子 ・副教材の記入 ・定期テスト ・課題レポート

3 学期	17 交通事故の現状と要因 18 交通社会における運転者の資質と責任 19 安全な交通社会づくり 20 応急手当の意義とその基本 21 心肺蘇生法	17,18,19 わが国の交通事故の特徴や、運転者の社会責任や補償を学び、安全な交通社会づくりを考えさせる。 20,21 応急手当の意義を理解し、応急手当、心肺蘇生法、AED ができるようになる。	○ 応急手当講習会では消防署職員の指導による応急手当講習会を実施。 ・ 学習状況の様子 ・ 副教材の記入 ・ 定期テスト ・ 課題レポート
------	---	---	---

4. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
○ 健康についての理解と、自ら健康に生きるための考えを持つことができる。	○ 現代社会における、健康課題を理解し、自らの健康を守り、健康に生きるための手段を考えることができる。 ○ 健康に関する新聞、インターネットなどを利用し、資料・情報を収集させ生涯にわたり健康に関する情報、関心を持つことができる。	○ 教科書及び新聞・インターネットなど幅広く健康に関する知識を得ることができる。

具体的な評価の対象

- ・ 年3回の学期末考査（70%）
- ・ 小テスト、学習ノート、授業中での課題プリント、課題レポート（10%）
- ・ 学習活動（態度、意欲）及び出席状況（20%）

5. その他（留意すべき点・担当者からの一言）

授業で学んだ、現代の健康問題をインターネット、テレビ、新聞などで自ら知識を得るようにしてください。